

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 内海造船株式会社
 コード番号 7018 URL <http://www.naikaizosen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶋末 幸雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 磯田 正道
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月16日

上場取引所 東大

TEL 0845-27-2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	31,202	—	2,319	—	2,270	—	1,179	—
20年3月期第3四半期	28,996	62.6	1,695	128.5	1,627	164.2	751	158.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	52.38	—
20年3月期第3四半期	33.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年3月期第3四半期	45,861	—	6,293	—	13.7	279.54	—	
20年3月期	39,290	—	5,512	—	14.0	244.82	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,293百万円 20年3月期 5,512百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

当社は定款において期末日を基準日として定めておりますので、四半期における配当は実施しておりません。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	12.2	2,390	12.7	2,290	13.2	1,220	32.7	54.18

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 22,530,000株 20年3月期 22,530,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 16,189株 20年3月期 14,532株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 22,514,794株 20年3月期第3四半期 22,517,222株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)個別業績予想

平成 21 年 3 月期の個別業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	41,000(12.0)	2,380(18.4)	2,280(19.2)	1,210(40.6)	53 74

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

平成21年3月期第3四半期連結累計期間における当社グループの経営状況は、景気の減速により、新造船の新規の商談が減少する等予断を許さない経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、平成21年3月期第3四半期連結累計期間の受注高は、642億35百万円、売上高は、312億2百万円となりました。

損益面では、投資設備の有効活用による業容拡大及びコスト削減を行い、営業利益23億19百万円、経常利益22億70百万円、四半期純利益11億79百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(1) 船舶事業

新造船工事は、鋼材・資機材価格は高止まり傾向にあるものの依然不透明という状況の中、投資設備の有効活用による業容の拡大及びコスト削減を行いました。

改修船工事についても、顧客ニーズ(品質・納期)への的確な対応とコスト削減を行いました。

このような状況のもと、平成21年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は304億87百万円、営業利益は33億94百万円となりました。

また、受注高につきましては、新造船13隻、改修船100隻、その他を含め637億94百万円となりました。この結果、受注残高は、新造船32隻、改修船17隻、その他を含め1,620億59百万円となりました。

(2) 陸上事業

当社として船舶事業に特化したことで、平成21年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は4億71百万円、営業損失は11百万円となりました。

また、受注高につきましては、1億97百万円となりました。この結果、受注残高は、41百万円となりました。

(3) サービス事業

個人消費は、依然として停滞するなど厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、平成21年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2億44百万円、営業損失は35百万円となりました。

また受注高につきましては、2億44百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

平成21年3月期第3四半期末における資産の残高は、458億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて65億71百万円増加いたしました。

流動資産の主な増加内訳は、前受金の増加等による現金及び預金が11億43百万円、新造船工事の工事進捗状況による仕掛品が33億8百万円増加いたしました。

固定資産の主な増加内訳は、単身寮・工場建屋の建設・土地の購入等による有形固定資産が8億57百万円増加いたしました。

(2) 負債

平成21年3月期第3四半期末における負債の残高は、395億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて57億89百万円増加いたしました。

負債の主な増加内訳は、新造船工事の前受金が56億3百万円、支払手形及び買掛金が14億51百万円増加したことと、短期・長期借入金が9億68百万円減少したこととの差引増加であります。

(3)純資産

平成21年3月期第3四半期末における純資産の残高は、62億93百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億81百万円増加いたしました。

これは、主に利益剰余金が8億41百万円増加したことであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期の業績予想については、前回（平成20年11月6日）の公表数値どおり順調に推移しておりますが、生産性向上を中心とした更なるコストダウンを行い、収益改善を目指します。

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

1)一般債権の貸倒見積高の算定方法

平成21年3月期第3四半期末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2)たな卸資産の評価方法

平成21年3月期第3四半期末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、平成21年3月期第2四半期末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3)固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

4)法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法及び総平均法による原価法によっておりましたが、当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法及び総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）により算定しております。

これにより、損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び連結子会社は、平成20年度税制改正に伴い、当連結会計年度より、機械装置の耐用年数の見直しを行っております。

これにより、平成21年3月期第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1億9百万円減少しております。

なお、事業の種類別セグメントの影響額については、9ページ5【四半期連結財務諸表】(5)セグメント情報に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,075	5,931
受取手形及び売掛金	1,703	1,623
商品	8	9
仕掛品	20,101	16,792
原材料及び貯蔵品	167	109
その他	2,766	1,678
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	31,796	26,120
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,784	2,211
構築物及びドック船台（純額）	1,668	1,635
機械装置及び運搬具（純額）	2,360	2,569
土地	4,565	4,462
その他（純額）	1,308	951
有形固定資産合計	12,687	11,829
無形固定資産		
その他	70	80
無形固定資産合計	70	80
投資その他の資産		
投資有価証券	435	554
その他	933	766
貸倒引当金	△61	△61
投資その他の資産合計	1,307	1,259
固定資産合計	14,065	13,169
資産合計	45,861	39,290

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,739	9,287
短期借入金	2,036	2,393
未払費用	1,054	1,353
未払法人税等	551	738
前受金	20,346	14,743
船舶保証工事引当金	61	45
その他	1,046	1,019
流動負債合計	35,836	29,581
固定負債		
長期借入金	697	1,308
再評価に係る繰延税金負債	1,184	1,184
退職給付引当金	1,791	1,655
役員退職慰労引当金	57	47
固定負債合計	3,731	4,196
負債合計	39,567	33,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	2,991	2,150
自己株式	△5	△4
株主資本合計	4,859	4,018
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24	83
土地再評価差額金	1,410	1,410
評価・換算差額等合計	1,434	1,494
純資産合計	6,293	5,512
負債純資産合計	45,861	39,290

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)
売上高	31,202
売上原価	26,980
売上総利益	4,222
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	346
役員退職慰労引当金繰入額	10
貸倒引当金繰入額	1
その他	1,545
販売費及び一般管理費合計	1,903
営業利益	2,319
営業外収益	
受取利息	10
受取配当金	11
その他	10
営業外収益合計	31
営業外費用	
支払利息	49
支払保証料	21
その他	8
営業外費用合計	79
経常利益	2,270
特別損失	
固定資産除却損	170
投資有価証券評価損	14
特別損失合計	184
税金等調整前四半期純利益	2,086
法人税、住民税及び事業税	952
法人税等調整額	△45
法人税等合計	907
四半期純利益	1,179

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,086
減価償却費	1,095
受取利息及び受取配当金	△21
支払利息	49
固定資産除却損	170
投資有価証券評価損益 (△は益)	14
売上債権の増減額 (△は増加)	△80
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,366
仕入債務の増減額 (△は減少)	788
前受金の増減額 (△は減少)	5,603
引当金の増減額 (△は減少)	164
その他	△1,694
小計	4,809
利息及び配当金の受取額	22
消費税等の還付額	898
利息の支払額	△42
法人税等の支払額	△1,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△2,158
その他	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△968
配当金の支払額	△337
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,306
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,125
現金及び現金同等物の期首残高	5,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,015

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

平成21年3月期第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	船舶事業 (百万円)	陸上事業 (百万円)	サービス事業 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	30,487	471	244	31,202	—	31,202
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	558	484	1,042	△1,042	—
計	30,487	1,029	728	32,245	△1,042	31,202
営業利益又は営業損失(△)	3,394	△11	△35	3,347	△1,028	2,319

(注) 1. 事業区分の方法は製品の種類・性質・製造方法等の類似性に基づく製品系列によっております。

2. 各区分に属する主要な製品の名称

(1) 船舶事業 貨物船・自動車航送旅客船・コンテナ船・自動車専用運搬船等の商船建造及び各種船舶・艦艇の改造修理等。

(2) 陸上事業 土木建設、太陽光発電システムの設置、農作物栽培装置。

(3) サービス事業 ホテルの経営・物品の販売等。

3. 追加情報

有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、平成20年度税制改正に伴い、当連結会計年度より、機械装置の耐用年数の見直しを行っております。これにより従来の方法によった場合と比較して、平成21年3月期第3四半期連結累計期間の船舶事業の営業利益は1億8百万円減少し、陸上事業、サービス事業、消去又は全社の営業損失は、それぞれ0百万円増加しております。

【所在地別セグメント情報】

平成21年3月期第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)において、在外連結子会社及び支店がないため記載しておりません。

【海外売上高】

平成21年3月期第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

	アジア	ラテンアメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	13,962	11,507	377	25,847
II 連結売上高(百万円)				31,202
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	44.7	36.9	1.2	82.8

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア (シンガポール他)

(2) ラテンアメリカ (パナマ)

(3) その他の地域 (リベリア)

3. 海外売上高は、連結子会社が本邦以外の国又は地域に対して輸出していないため、当社の海外売上高を記載しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

【受注及び販売の状況】

(1) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメントの名称	平成20年3月期第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		平成21年3月期第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
船舶事業	28,374	97.9	30,487	97.7	36,665	97.9
陸上事業	299	1.0	471	1.5	369	1.0
サービス事業	322	1.1	244	0.8	398	1.1
合計	28,996	100.0	31,202	100.0	37,433	100.0

(2) 受注実績

① 受注高

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメントの名称	平成20年3月期第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		平成21年3月期第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
船舶事業	46,507	98.2	63,794	99.3	65,717	98.6
陸上事業	507	1.1	197	0.3	542	0.8
サービス事業	322	0.7	244	0.4	398	0.6
合計	47,336	100.0	64,235	100.0	66,659	100.0

② 受注残高

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメントの名称	平成20年3月期第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)		平成21年3月期第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
船舶事業	117,833	99.7	162,059	100.0	128,753	99.8
陸上事業	349	0.3	41	0.0	315	0.2
合計	118,183	100.0	162,101	100.0	129,068	100.0

「参考資料1」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額 (百万円)
I. 売上高	28,996
II. 売上原価	25,679
売上総利益	3,316
III. 販売費及び一般管理費	1,621
営業利益	1,695
IV. 営業外収益	36
1. 受取利息及び受取配当金	18
2. その他	17
V. 営業外費用	104
1. 支払利息	77
2. その他	27
経常利益	1,627
VI. 特別損失	204
税金等調整前四半期純利益	1,422
税金費用	671
四半期純利益	751

(2)セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

平成20年3月期第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

	船舶事業 (百万円)	陸上事業 (百万円)	サービス事業 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	28,374	299	322	28,996	—	28,996
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	567	426	993	△993	—
計	28,374	866	748	29,989	△993	28,996
営業費用	25,914	847	739	27,501	△200	27,300
営業利益又は営業損失(△)	2,460	18	8	2,487	△792	1,695

(注) 1. 事業区分の方法は製品の種類・性質・製造方法等の類似性に基づく製品系列によっております。

2. 各区分に属する主要な製品の名称

(1)船舶事業 貨物船・自動車航送旅客船・コンテナ船・自動車専用運搬船等の商船建造及び各種船舶・艦艇の改造修理等。

(2)陸上事業 土木建設、太陽光発電システムの設置、農作物栽培装置、産業機械並びに鉄鋼構造物等の設計・製作。

(3)サービス事業 ホテルの経営・物品の販売等。

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(792百万円)の主なもの、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

平成20年3月期第3四半期(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)において、在外連結子会社及び支店がないため記載しておりません。

「参考資料2」

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期 (個別)

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の個別業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日) (百万円未満切捨て)

(1) 個別経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 3 四半期	30,369	(-)	2,301	(-)	2,254	(-)	1,173	(-)
20 年 3 月期第 3 四半期	28,355	(65.3)	1,623	(145.2)	1,555	(191.3)	714	(170.7)

	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	
	円	銭	円	銭
21 年 3 月期第 3 四半期	52	12	-	-
20 年 3 月期第 3 四半期	31	72	-	-

(2) 個別財政状態

	総 資 産		純 資 産		自己資本比率	1 株 当 た り 純 資 産	
	百万円		百万円		%	円	銭
21 年 3 月期第 3 四半期	45,258		6,161		13.6	273	69
20 年 3 月期	38,830		5,386		13.9	239	22

(参考) 自己資本 21 年 3 月期第 3 四半期 6,161 百万円 20 年 3 月期 5,386 百万円

2. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)		
I. 流動資産		
1. 現金及び預金	6,849	5,682
2. 受取手形及び売掛金	1,579	1,487
3. 仕掛品	19,870	16,668
4. 原材料及び貯蔵品	151	93
5. その他	2,705	1,685
貸倒引当金	△26	△24
流動資産合計	31,129	25,592
II. 固定資産		
1. 有形固定資産		
(1) 建物	2,778	2,205
(2) 構築物	1,216	1,209
(3) ドック船台	451	425
(4) 機械装置	2,216	2,448
(5) 土地	4,565	4,462
(6) その他	1,438	1,058
有形固定資産合計	12,667	11,810
2. 無形固定資産		
その他	68	78
無形固定資産合計	68	78
3. 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	435	554
(2) その他	1,018	855
貸倒引当金	△61	△61
投資その他の資産合計	1,392	1,348
固定資産合計	14,128	13,237
資産合計	45,258	38,830

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
(負債の部)		
I. 流動負債		
1. 支払手形及び買掛金	10,337	8,799
2. 短期借入金	2,036	2,393
3. 未払費用	1,012	1,225
4. 未払法人税等	551	696
5. 前受金	20,344	14,636
6. 船舶保証工事引当金	61	45
7. その他	1,043	1,472
流動負債合計	35,386	29,269
II. 固定負債		
1. 長期借入金	697	1,308
2. 再評価に係る繰延税金負債	1,184	1,184
3. 退職給付引当金	1,786	1,646
4. 役員退職慰労引当金	40	34
固定負債合計	3,709	4,174
負債合計	39,096	33,443
(純資産の部)		
I. 株主資本		
1. 資本金	1,200	1,200
2. 資本剰余金	672	672
3. 利益剰余金	2,860	2,024
4. 自己株式	△5	△4
株主資本合計	4,727	3,892
II. 評価・換算差額等		
1. その他有価証券評価差額金	24	83
2. 土地再評価差額金	1,410	1,410
評価・換算差額等合計	1,434	1,494
純資産合計	6,161	5,386
負債、純資産合計	45,258	38,830

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成されておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 【四半期損益計算書】
(第3四半期累計期間)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
区分	金額(百万円)
I. 売上高	30,369
II. 売上原価	26,250
売上総利益	4,119
III. 販売費及び一般管理費	1,817
営業利益	2,301
IV. 営業外収益	
1. 受取利息	9
2. 受取配当金	11
3. その他	10
営業外収益合計	31
V. 営業外費用	
1. 支払利息	48
2. 支払保証料	21
3. その他	8
営業外費用合計	78
経常利益	2,254
VI. 特別損失	
固定資産除却損	170
投資有価証券評価損	14
特別損失合計	184
税引前四半期純利益	2,069
法人税、住民税及び事業税	947
法人税等調整額	△51
法人税等合計	896
四半期純利益	1,173

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成されておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

「参考資料3」

平成21年2月10日

内海造船株式会社

(コード番号7018)

平成21年3月期 第3四半期 決算の概要

1. 当第3四半期(累計)の業績について

当第3四半期(累計)は下表のとおり、前第3四半期(累計)に比べて、個別、連結とも増収増益の決算となった。

(単位:百万円未満切り捨て)

区 分		当第3四半期(累計) (A)	前第3四半期(累計) (B)	比 較(A-B)	
売 上 高	個 別	新造船	25,196	23,890	1,305
		改修船	4,676	3,835	840
		その他	496	629	△ 132
		計	30,369	28,355	2,013
	連 結	31,202	28,996	2,206	

(注) 個別・連結売上高の増収要因は、当社の基幹事業である船舶事業の新造船は前第3四半期(累計)と同隻の6隻を売上に計上した。また、改修船は改造船を1隻含む108隻を売上に計上した。

(注) 新造船の内訳

当第3四半期(累計)			前第3四半期(累計)		
船 種	隻 数	G T	船 種	隻 数	G T
コンテナ船	2	54,208	コンテナ船	5	135,520
自動車運搬船	2	39,970	調査取締船	1	742
プロダクトタンカー	1	13,202			
フェリー	1	3,555			
合 計	6	110,935	合 計	6	136,262

(単位百万円)

区 分		当第3四半期(累計) (A)	前第3四半期(累計) (B)	比 較(A-B)	
損	営 業 利 益	個 別	2,301	1,623	678
	連 結	2,319	1,695	623	
益	経 常 利 益	個 別	2,254	1,555	698
		連 結	2,270	1,627	643
	四半期 純利益	個 別	1,173	714	459
		連 結	1,179	751	427

(注) 投資設備の有効活用による業容の拡大及びコスト削減を行い、前第3四半期(累計)に比べて、個別、連結とも営業利益、経常利益、四半期純利益は増益となった。

2. 新造船の受注状況について

景気の減速により、新規の商談が減少する中、当社の営業力、設計力、技術力を結集し、顧客ニーズに対応した受注活動を展開した結果、下表のとおり、引渡ベースで約3年間分の工事量を確保している。

当第3四半期(累計) 受注高	当第3四半期末現在 受注残高
59,714百万円	161,274百万円

(内 訳)

受注高			受注残高		
船種	隻数	G T	船種	隻数	G T
コンテナ船	2	54,200	コンテナ船	13	353,600
貨物船	11	264,000	貨物船	11	264,000
			プロダクトタンカー	6	169,731
前期受注船修正		△774	自動車運搬船	2	41,400
合計	13	317,426	合計	32	828,731

3. 株主配当について

平成21年3月期は、前期に続き1株当たり15円の期末配当を継続する予定である。

4. 平成21年3月期の業績予想について

第4四半期に売上計上される新造船の収益見通し、資材費等の動向を考慮し、通期の業績予想については、下表のとおり、前回(平成20年11月6日)公表数値どおりである。

このような状況の中でも、生産性向上を中心とした更なるコストダウンを行い、収益改善を目指す。

平成21年3月期業績予想

(単位百万円)

区 分	第3四半期(累計)実績		第4四半期(見通し)		通期(予想)	
	個別	連結	個別	連結	個別	連結
売上高	30,369	31,202	10,631	10,798	41,000	42,000
営業利益	2,301	2,319	79	71	2,380	2,390
経常利益	2,254	2,270	26	20	2,280	2,290
当期純利益	1,173	1,179	37	41	1,210	1,220

(おわり)